



神戸赤十字病院 消化器内科

医の倫理と人道・博愛の赤十字精神に基づき、皆さんの健康に奉仕いたします。

研修内容

病院の特色

神戸赤十字病院は、阪神淡路大震災をきっかけとして「災害に強い病院」として、2003年に兵庫県災害医療センターと併設する形で誕生しました。高度救命救急センターである災害医療センターと協力し、1次から3次救急まで対応できる急性期病院、災害時には基幹災害拠点病院として機能できる病院を目標としています。

三宮から一番近いという立地を生かし、ヘリポートを備え、年間約5000台の救急車を受け入れている病院です。

診療科の特色

当院の消化器内科は、「若手が働きやすい病院・働いてよかった病院」を目指しています。情報伝達ではできるだけデジタル機器を用いて、効率よく行っています。部長回診や長時間のカンファレンスなどは廃止し、効率よく学習できるデジタルツールを配備しています。土日は当番制で回診を行い、当直明けの休暇、土日の振替休暇を確保し、十分な休息をとりながら、診療にあたることのできる体制を整えています。

内視鏡診断学については、こだわりをもって行っています。ピロリ菌の内視鏡診断や拡大内視鏡検査について、熱く語り合っています。

内視鏡治療学に関しては、通常の粘膜剥離術や胆膵内視鏡はもちろん、緊急内視鏡の機会も多くなっています。特に重症の緊急内視鏡については、災害医療センターと協力し、全身管理は人工呼吸器を装着して救急医にお願いしながら、安全に行っています。

人工呼吸器管理下での緊急内視鏡検査は、兵庫県下でトップクラスの症例数になっています。

2023年度実績

上部内視鏡検査	3874件
止血術	76件
食道静脈瘤硬化療法・結紮術	14件
粘膜下層剥離術	58件
胃瘻造設術	7件
異物除去術	7件
超音波内視鏡	77件
超音波内視鏡下針生検	16件

下部内視鏡検査	2234件
内視鏡的腫瘍切除術	671件
止血術	39件

胆膵内視鏡検査	225件
胆道ドレナージ術	159件
乳頭切開・拡張術	116件

メッセージ

消化器内科部長が医療Dx推進室長を兼務していることから、医療Dxの進歩についても、学習する機会を増やしています。

その他、保険診療、病院経営、医療倫理など、他の施設では学べないことを幅広く学習する機会を設けています。

神戸赤十字病院は、多様な人材が働くことのできる、懐の深い病院です。気軽に声をかけていただければ嬉しいです。